

岡山理科大学獣医学部の設置認可を受けて

本日、岡山理科大学獣医学部の設置認可をいただきました。この日の喜びを、地元今治市、愛媛県の方々をはじめ、関係する全ての皆様方と心から分かち合いたいと存じます。開設後は、寄せられたご期待にお応えすべく、教職員一同、教育・研究体制の充実に精進し、世界に通用する人材を育成してまいります。引き続き、ご指導ご支援の程、よろしくお願い致します。

平成29年11月14日

学校法人加計学園

理事長 加計 孝太郎

社会ニーズに対応した新しい獣医学拠点を構築します

平成30年4月、岡山理科大学は西日本の私立大学では初めて獣医学部を開設することになりました。

本学の獣医学部の基本コンセプトは“One World, One Health”と“One Medicine”です。前者は「地球上のヒトと動物の健康は相互に密接に関係していて切り離せないものである」、そして後者は「ヒトの医学と動物の獣医学は別物ではなく、共通の基盤の上に成り立っている」という意味です。このような認識に立って、動物とヒトの健康を科学するための新しい教育研究拠点を構築します。

本学獣医学部の大きな特徴は、先端ライフサイエンス研究に獣医学的な見地からアプローチし、革新的な創薬・医療機器開発に貢献できる人材や、人獣共通感染症など新たなリスクに対応できる国際的に通用する人材を養成することです。これを実現させるために、専任教員87名（教授33名、准教授20名、講師9名、助教25名）という日本では最大規模の充実した教員組織を編制しました。

獣医学部は獣医学科（6年制、入学定員140名）と獣医保健看護学科（4年制、入学定員60名）の二つの学科で構成されます。

獣医学科では、社会ニーズに対応できる国際的な視野をもった獣医師を養成します。1～4年次までは獣医学教育モデル・コア・カリキュラムに沿って獣医学の多様な分野を幅広く学び、5～6年次では3分野（ライフサイエンス、公共獣医事、医獣連携獣医）から一つ選択し、自分の将来の進路に合った専門分野を深く学びます。このような教育体系は、斉一教育を基本としてきたこれまでの獣医学教育とは一線を画すものです。

獣医保健看護学科（4年制、入学定員60名）では、国際的にVPP(Veterinary Paraprofessional)と呼ばれている人材を養成します。VPPとは近年注目される職種で、拡大する獣医分野に精通し、獣医師と連携できる実践的な能力を有する専門家のことです。低年次では獣医学科と共通の科目および獣医看護学の基礎科目を中心に学び、高年次では実験動物、公衆衛生、高度獣医事看護の3分野のアドバンスト科目を学びます。

獣医学部のキャンパスは愛媛県今治市にあります。今治市は造船業・海運業やタオル産業では国内で最大規模を誇り、農水畜産業など一次産業も盛んな土地柄です。市街地に隣接する丘陵地に造成された広大なキャンパス（敷地面積16.8万㎡）からは、瀬戸内海の美しい多島景観を眺望することができます。学生たちは、自然に恵まれたこの地において、学外実習やボランティア・地域イベントなどを通じて地元の皆さんと交流する機会が多くあります。

岡山理科大学では、「自ら考え、行動し、失敗を恐れずに粘り強く取り組むとともに、目的達成のために多様な人と協働できる人材を地域社会・国際社会に輩出すること」を教育目標に掲げています。この教育目標の下で、高い使命感をもった獣医学人材を世に送り出すことが本学のこれからの重要な責務であると考えています。

平成29年11月14日

学校法人加計学園 岡山理科大学
学長 柳澤 康信